

平成 29 年 4 月 7 日

長野県立歴史館ホームページをご覧の皆様へ

長野県立歴史館長 笹本正治

当館では、平成 29 年 3 月、長野県職員を対象として当館についてのアンケートを実施しました。

結果の概要と、いただいたご意見に対して、現在取り組んでいる事業についてお知らせいたします。

私たち歴史館は、今年開館 23 年を迎えました。県民の皆様の貴重な歴史遺産を保存、継承する場として、また皆様がよりよい未来を築くための学びの場として活動してきました。

今後とも、皆様に愛される歴史館を目指して、サービスの一層の向上に職員一同努力してまいります。皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

E-mail:rekishikan@pref.nagano.lg.jp

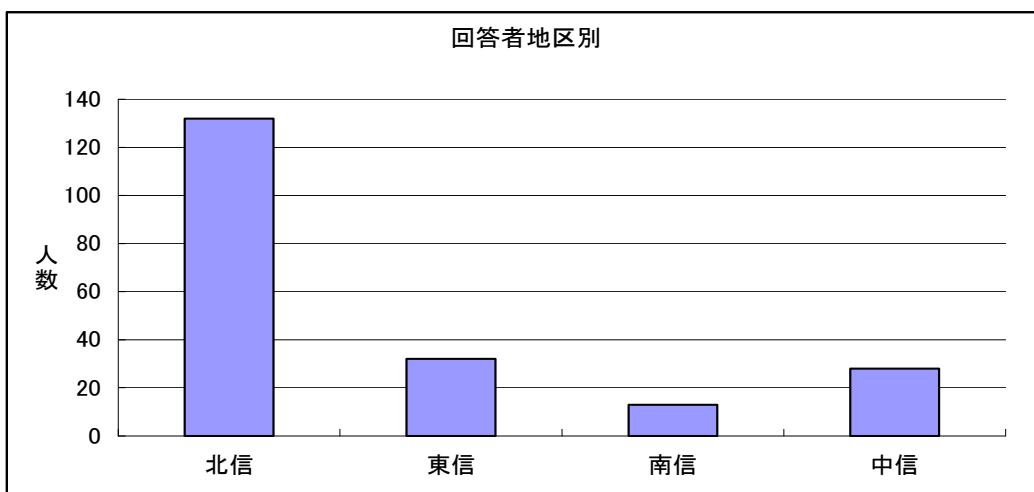
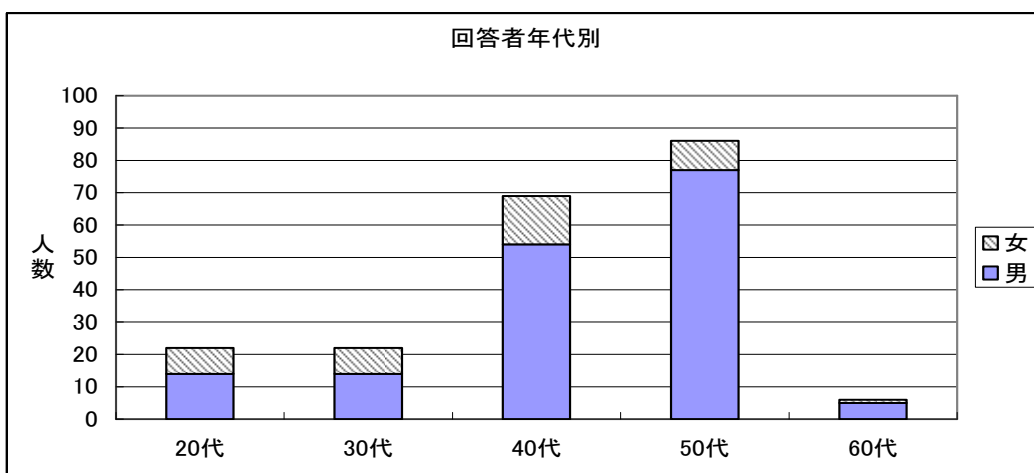
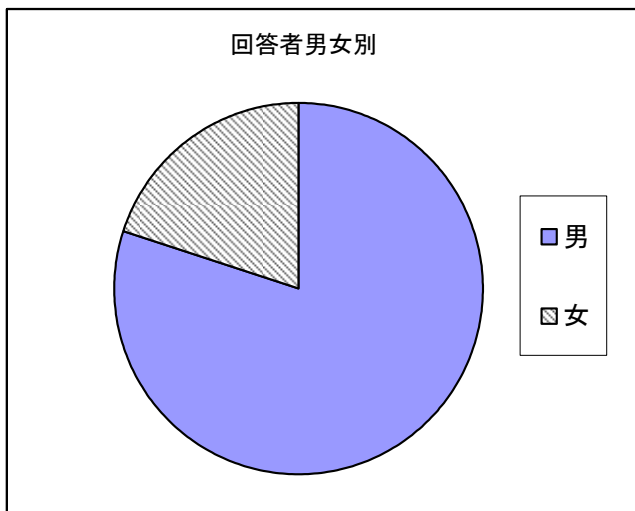
実施時期：平成 29 年 3 月 3 日～3 月 17 日

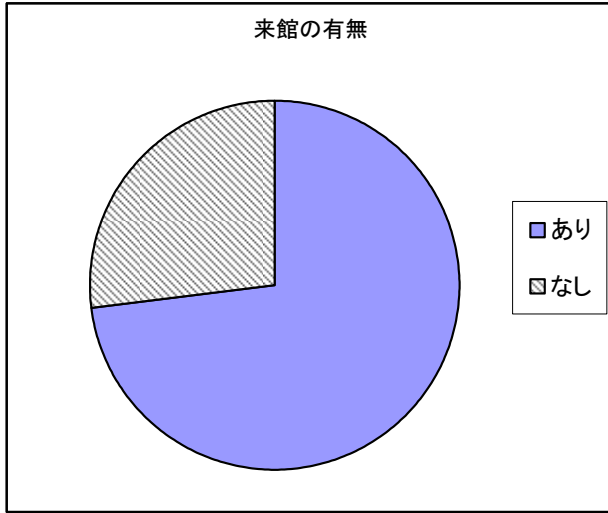
アンケート対象：長野県職員

回答総数：205 名（男 164 名 女 41 名）

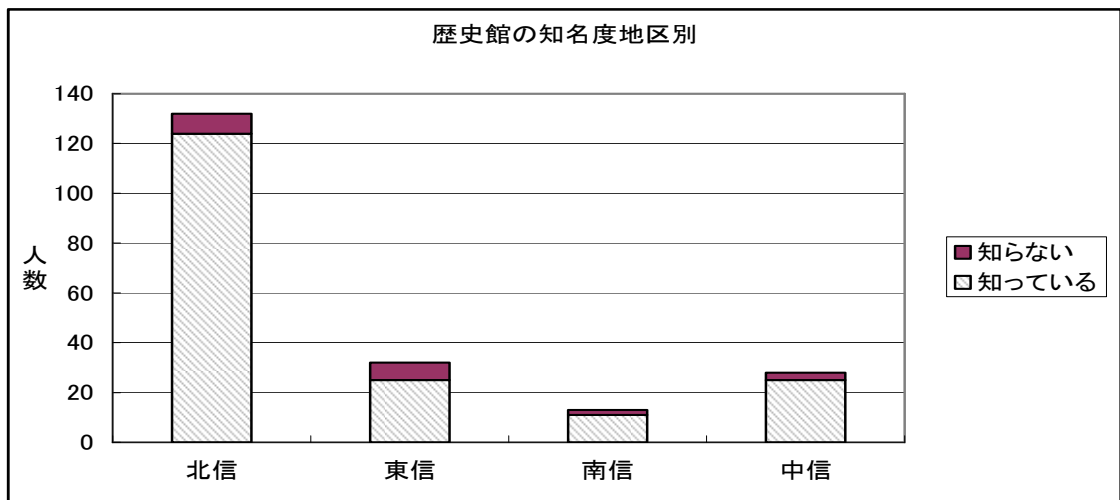
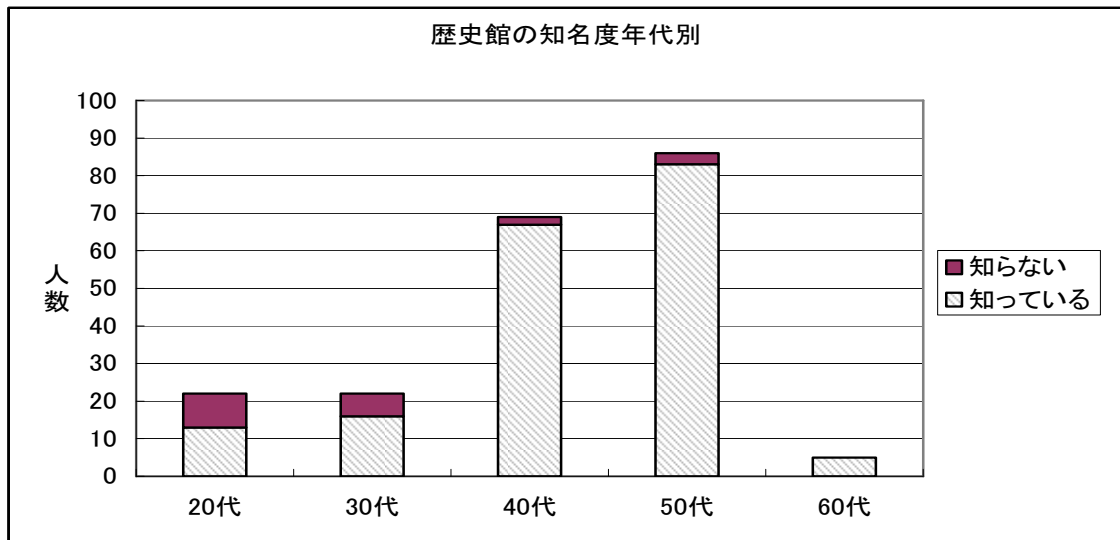
問1 あなたについて教えてください

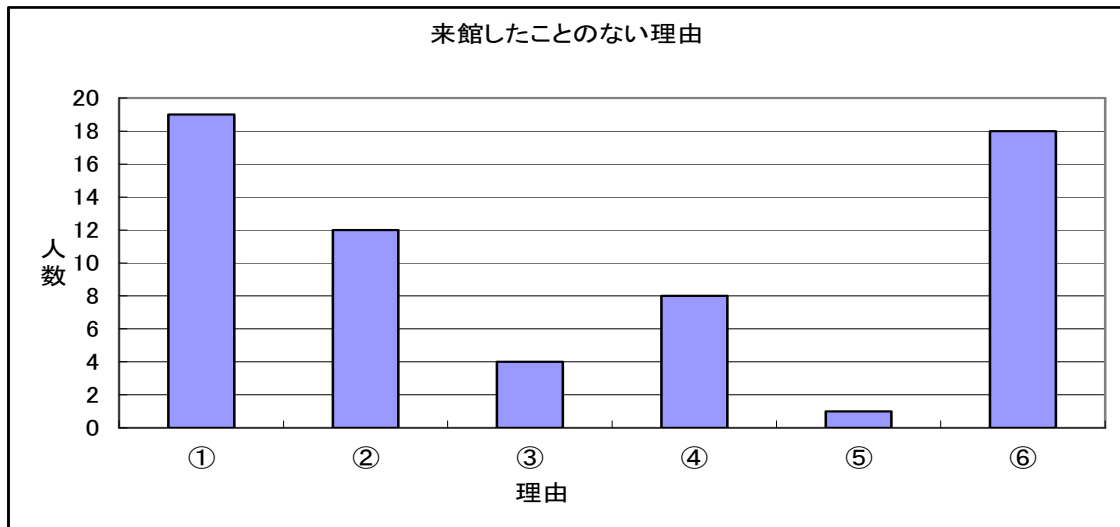
回答者総数205名（男性164名 女性41名）





問2 あなたがどのくらい歴史館を知っているか、教えてください

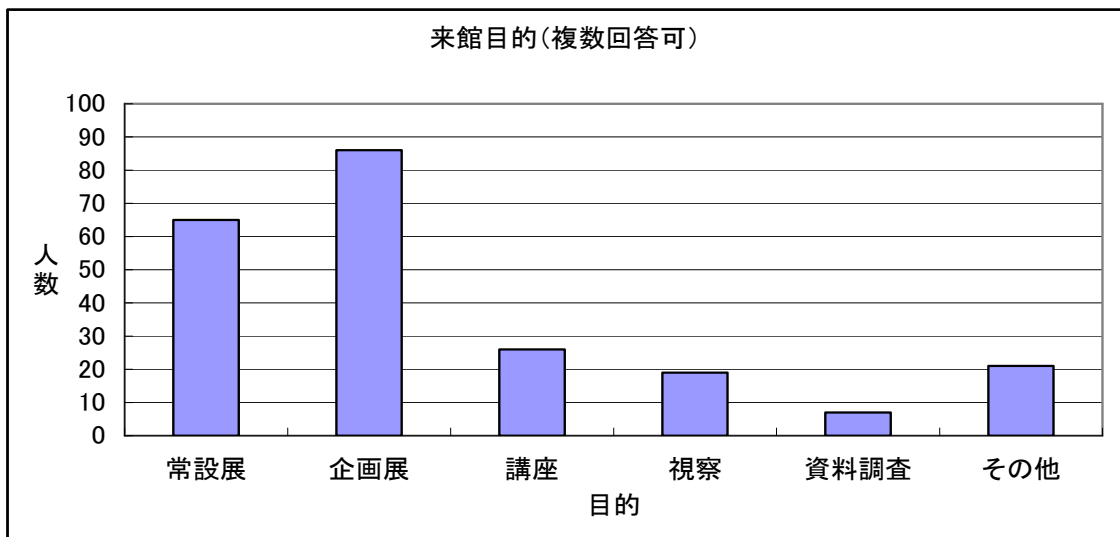
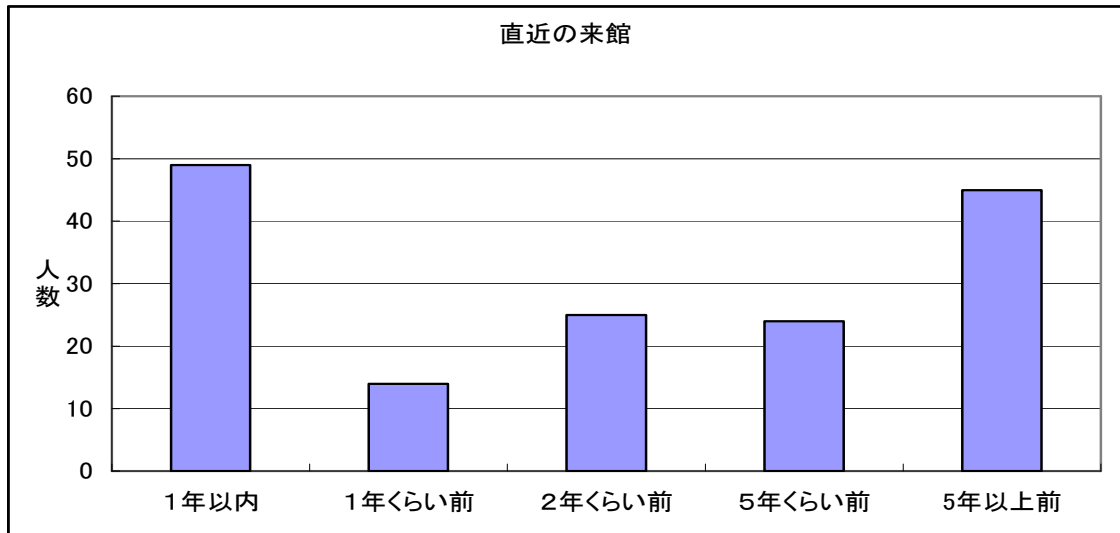
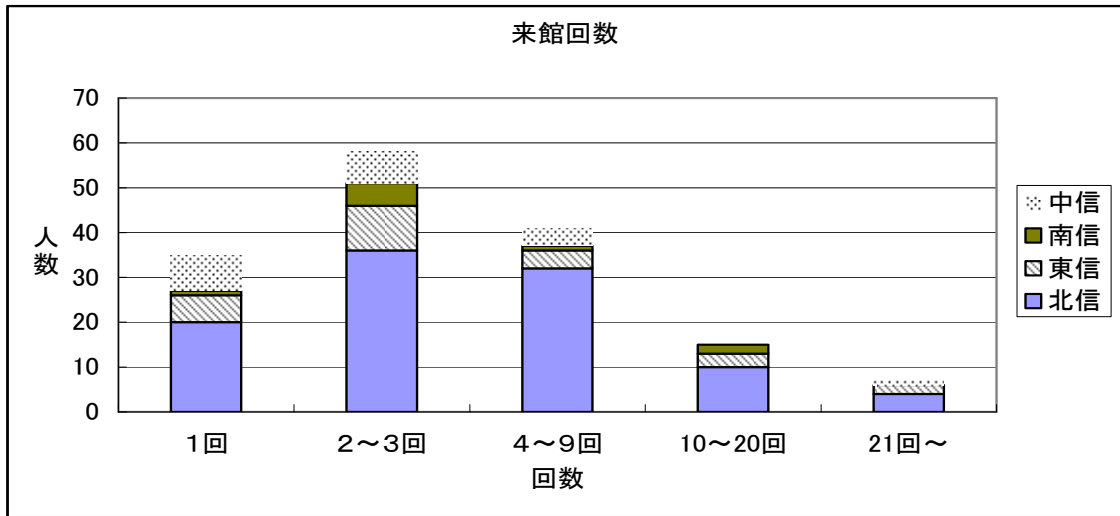


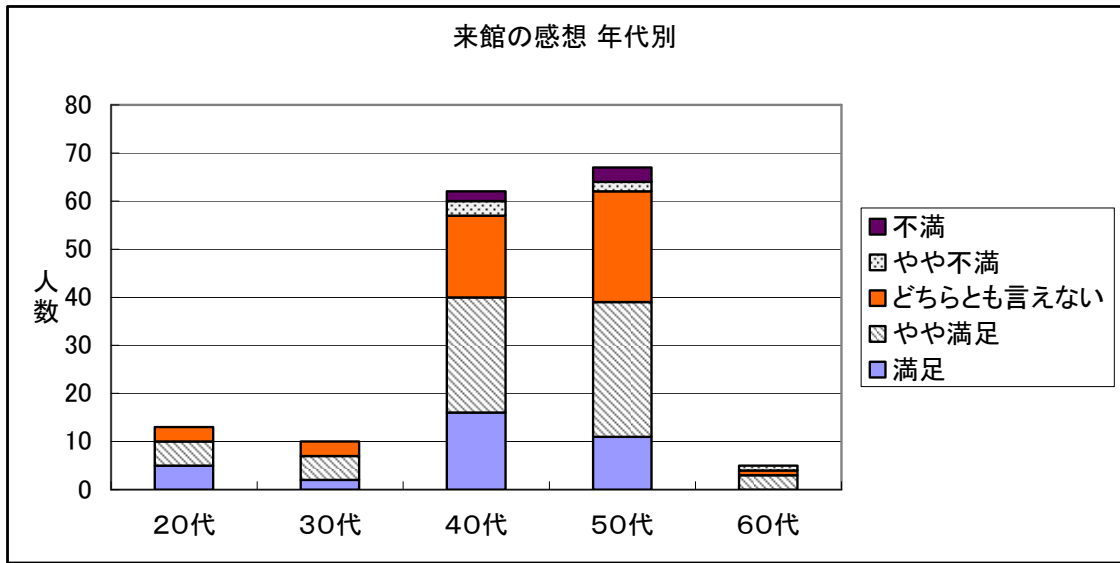


- ① 興味がないから ② あることを知らないから ③ 交通の便が悪いから
 ④ 内容が難しそうだから ⑤ 料金が安いから ⑥ その他

⑥ その他

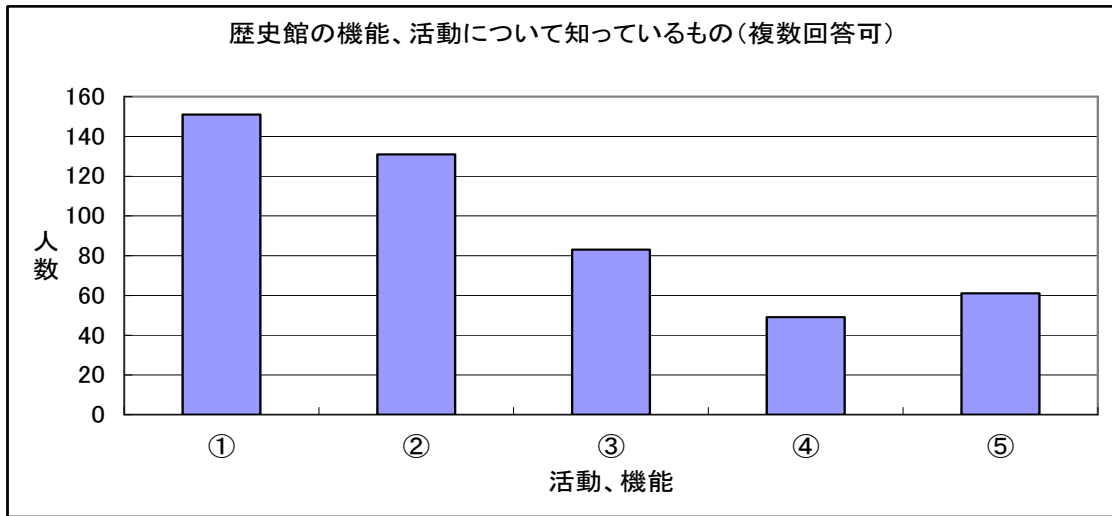
- ・行く理由が見当たらなかった。
- ・交通の便が悪く、歴史館だけを目的に行くには魅力がない。また、余り興味がない人でも、目を引くような情報発信の方法を考えるべき。
- ・興味はあるが、来館するまでに至らなかった。
- ・遠いため。
- ・企画展やイベント等の情報が不足している（入手できない）のため、足がむかない。
- ・特にその機会がなかったから。
- ・遠くはないが近くもないので、そこまでして行こうと思わない。
- ・時間に余裕がないため。
- ・興味はあるが、なんとなく。
- ・興味はあるが、なかなか行く機会がなかった。



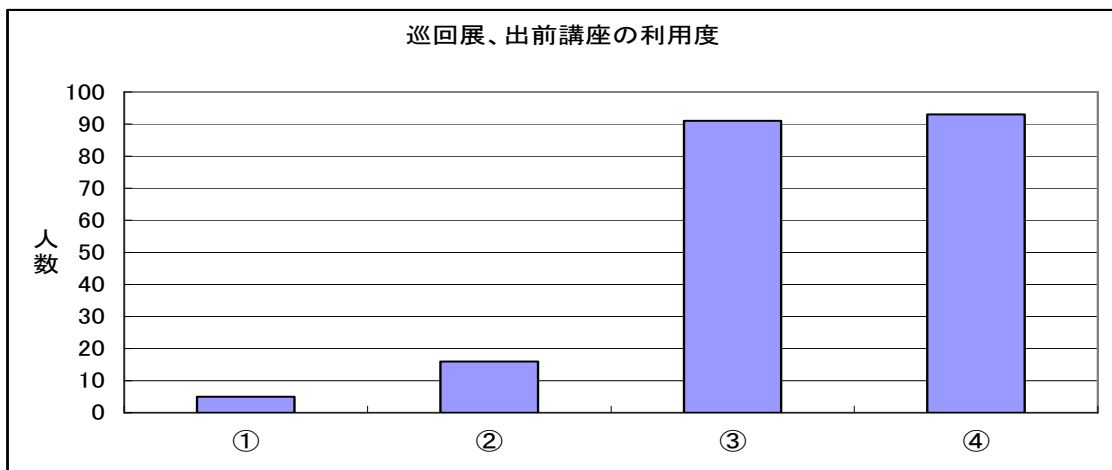


不満の理由

- ・常設展は暗い部屋に展示があるだけでつまらないと思った。
- ・興味をひくような展示や内容ではないと思います。ありきたりの施設でもう一度行こうという気持ちにならない。リピーターの多い東京ディズニーランド等から学んだ方が良いのではないかと思います。
- ・常設展示物が古い。
- ・特別展示室が狭く、企画展の展示内容が不十分。

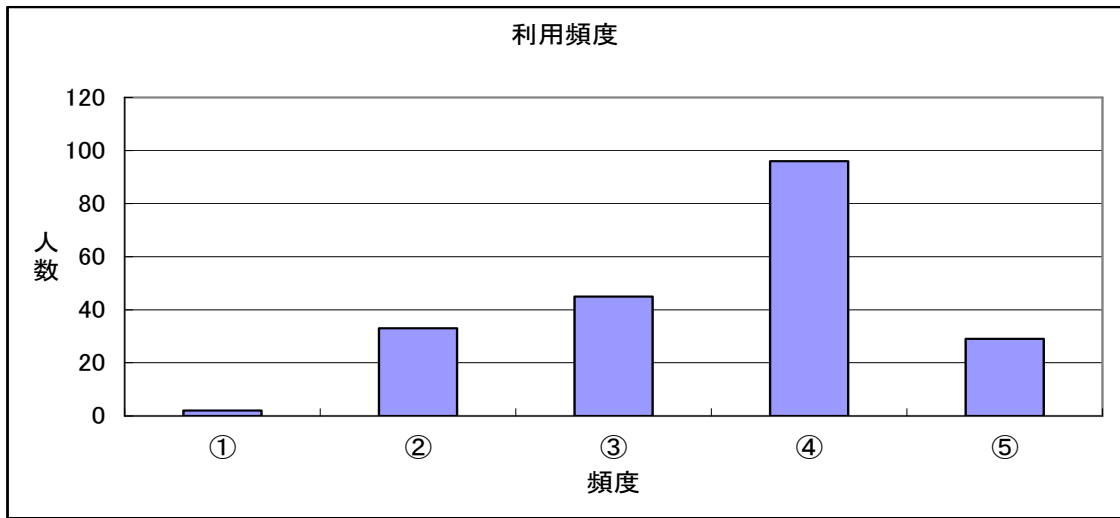


① 博物館機能 ② 埋蔵文化財保護等 ③ 公文書館機能 ④ 出版 ⑤ 資料閲覧

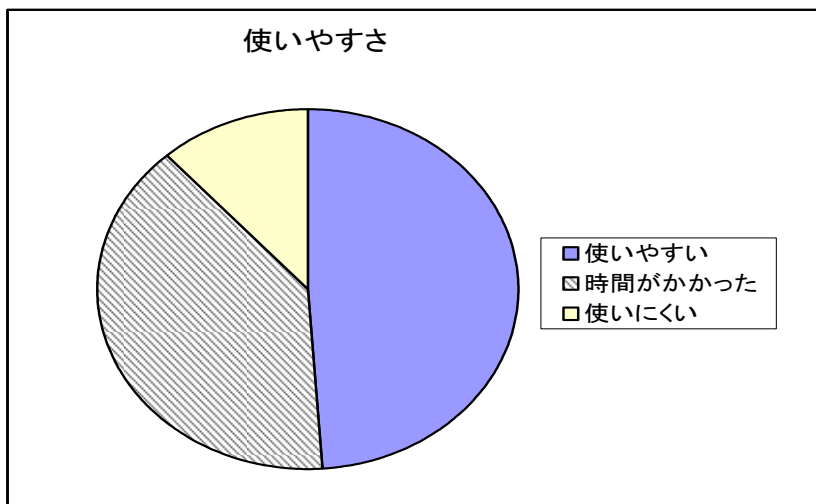
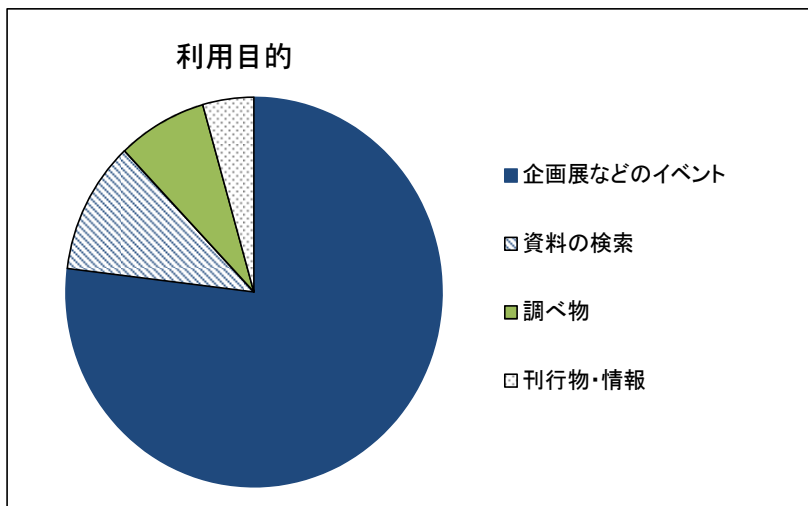


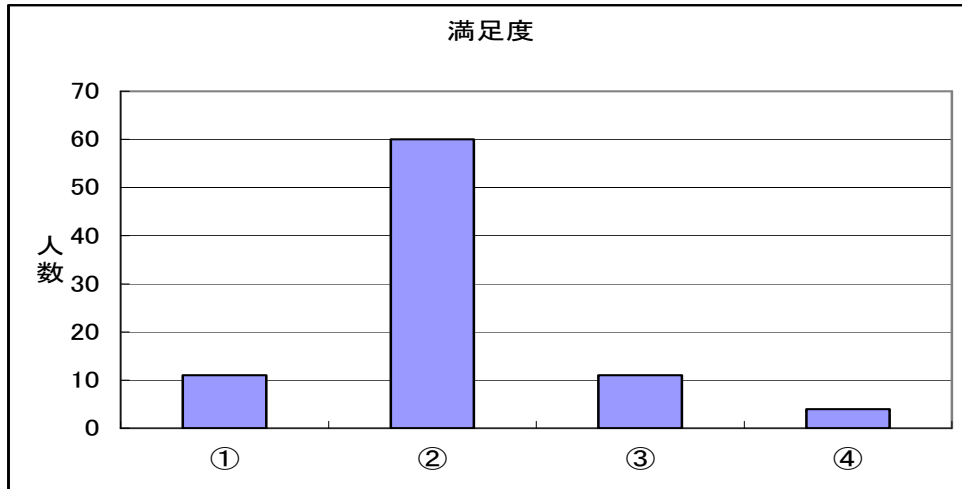
① 何度も行っている ② 行ったことがある ③ 実施していることは知っているが、行ったことはない
④ 実施していることを知らない

問3 ホームページについて



① 毎日 ② 時々 ③ 年に1回 ④ 利用したことがない ⑤ あることを知らない





① 満足 ② どちらかと言えば満足 ③ どちらかと言えば不満 ④ 不満

不満の理由

- ・ありきたりのHP でありあまり惹きつけるものがないと思います。

問 4 歴史館へのご要望・ご意見をお聞かせください

- ・場所が北に寄りすぎていて、中信・南信地域の住民になじみがない。
- ・情報発信に力を入れてください。

「おでかけ歴史館」を今年度を始めます。主に中南信の小中学校や公民館へ職員が出かけていき、歴史を分かりやすく紹介します。中南信地域でも講座を開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

平成 29 年長野県立歴史館巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」は当館のほか、長野県伊那文化会館、安曇野市豊科郷土博物館、浅間縄文ミュージアムで開催します。

- ・地域を取り上げ、歴史や文化を紹介する企画展を積極的に計画していきます。今年度は飯田地域を取り上げます。

- ・学校の社会見学コースに入れていただければよいのでは。

多くの社会見学を受け入れています。小学校 6 年生を中心に、年間およそ 200 校、12,000 人が訪れています。職員が丁寧に解説を行っています。大変好評です。

- ・県民の財産であります。大変重要と思います。県民へ良い情報を発信してください。小中高と若年層への教育のために有効に利用されることを希望します。発掘体験をしたり、歴史ととらえるのではなく、人間の生き方、進化、未来に向かっての今であることを情報発信してください。全国の歴史館とも情報を交換しながら、また、世界の歴史と情報交換しながら、日本を見つめることもよいのではないかと思います。
- ・子ども達が歴史に興味を持てるような、簡単で想像力をかきたてられる企画を期待いたします。
- ・もっと歴史に親しみやすいアプローチが必要かと思います。専門的な歴史講座や格調高い雰囲気もいいですが、もう少し親しみやすく面白いイベント等で集客・収益を増加させてほしいと思います・子どもを連れて行くのによい施設だと思います。大きな展示物を更新することは難しいでしょうが、タッチパネルのコンテンツを更に充実していただけると、今後も楽しめると思います。
- ・近現代史コーナーの新設に期待します。
- ・複数回行く気になれない理由は、子どもを刺激する「遊び心」がないからだと考える。

「子どものための近現代史コーナー」を開設する準備を進めています。子どもたちや、親子で、楽しみながら歴史に触れることができる展示を目指しています。

- ・貴重な考古文化財を今後とも分かりやすく展示してほしい。

毎年、長野県埋蔵文化財センターや市町村の発掘の成果を紹介する巡回展を開催しています。

「縄文王国・信州」をキーワードに、今年度に縄文土器展、平成30年度に黒曜石展を開催します。

- ・信州学の拠点としていけばよいのでは。

今年度、信州学に関するブックレットを刊行します。

- ・ボランティアの積極活用を。

「歴史館ボランティア」制度があります。主に土日祝日に展示解説を行っています。また、まが玉作りなどを指導する体験ボランティアも活動しています。